

# 一房のぶどう



第16号

平成21年5月15日 編集・発行／あきる野市教育委員会  
〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)



## 進む市立小中学校の耐震化

当初の計画を前倒して、平成23年度までに、全ての校舎と体育館の耐震補強工事を完了します。

## 放課後子ども教室

地域の方々が、子どもたちの放課後等の居場所づくりを行っています。



## 教育委員による学校訪問活動

学校における教育活動の状況を把握し、共通理解を深めるため、学校を訪問しています。



## 「おとなが手本のあきる野市あいさつ標語」

あいさつ あふれる あきる野市 原田 唯さん  
おはようと 笑顔で始まる 地域の和 神田靖秀さん  
勇気出し みずからあいさつ 大声で 青木映子さん

この標語は、「おとなが手本のあきる野市」運動の一環で、先ず「おとなから率先してあいさつをすることで、こどもに正しい生活習慣や社会性を身に付けることや規範意識を高める。」ことを目指して募集した作品の中から選ばれた作品です。

## てくてくあきる野 むかし発見！ 第12話 「二宮・平沢・森山の旅」

「武蔵では東秋留の二宮神社の境内に、今もまだ一座の社宮司社の残って居ることを、この春の散歩の日に見つけて来た。附近の人たちはオシャモジ様と呼び、やはり飯杓子を立てて嬰兒の安全を禱って居る。」このくだりは、民俗学者柳田國男の『石神問答』の巻頭の二節です。今回の旅は、ここから始まります。



おしゃもじさま

東秋留駅を北側に出て、東へてくてく歩き出します。しばらく行くとき大きな通りに出ます。左へ曲がると、すぐ右手に木立ときれいな池が見えてきます。この池の脇に小さな社があります。これが柳田國男が取上げた社です。通称「おしゃもじさま」と呼ばれています。社側面には、「大正八年二月之作」と刻まれています。



二宮神社の鳥居

再び通りにもどると目の前に大きな鳥居が見えます。ここが二宮神社です。鳥居をくぐり、46の階段を少し息を切らせながら上ると社殿が目の前に現れます。ちよつと振り返ってみると遠くまで見渡せるすばらしい景色が広がっています。正面に見えるのが拝殿です。その後ろにある建物が本殿です。お参りするにはさらに4段の階段があります。本殿の中には中世以前の作と考えられる宮殿(くうでん)があり、共に市指定有形文化財となつている貴重な文化財です。また、二宮神社境内周辺は、旧石器時代から中世までの人々の生活の痕跡が残されている場所です。この周辺からはたくさんの土器や石器が出土しています。出土遺物は、北側にある市の展示施設二宮考古館で見ることが出来ます。この館では、毎週土曜日に「さわれる土曜日」が開催され、何と！本物の土器や石器に触れることができます。ぜひ一度立ち寄って土



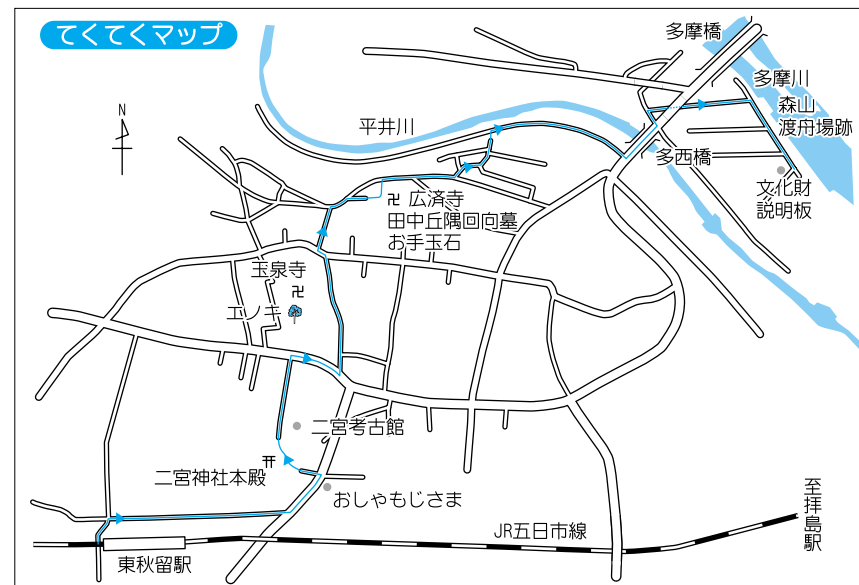
田中丘隅の回向墓



お手玉石

器や石器を肌で感じとってみてください。館の見学を終えて住宅街を北へ向かうと真正面に大きな木が見えます。さてこれは何の木でしょうか。五日市街道に出て右へ石垣に沿って坂を下り、信号を渡って北へ向かうと、左手に玉泉寺が見えてきます。赤い門をくぐり、本堂に向かうとちょうど左手に先ほど見た大木が一段と大きく見えます。枝を四方に張り出した姿は雄大です。これは市指定天然記念物のエノキです。玉泉寺を出て左に歩いてく歩き出し、つき当りを左へ曲り、すぐに右にある小さな道を北へ進み、さへ曲がると、広済寺の門が正面に見えてきます。このお寺には、東京都指定文化財「田中丘隅の回向墓」があり、平沢

出身の丘隅は、江戸時代、神奈川県にある酒匂川の治水工事などに尽力した人物です。また、境内には力持ちの男がお手玉のように軽々と扱った石「お手玉石」があります。決して持ち上げたりしないてくださいね。広済寺を出て右手に緩やかな下り坂を進み、左手の住宅街の道に入り、道なりに進んで行く。と平井川に出ます。遊歩道を右へ進み、多西橋を渡り左へ曲ると、いずみ通りに出ます。数メートル行き、右に曲って小さなトンネルをくぐって進むと多摩川の土手に出ます。このあたりにかつて森山の渡舟場(とせんば)があり対岸へわたる交通の要となつていました(現地に文化財説明板があります)。大正14年多摩川の北側に多摩橋、南側に五日市街道が開通しその役目は終りとなりました。



目を閉じて耳を澄ますと川風とともに「おーい、舟がでるぞー」と、今でも声が聞こえてくるような気がします。

**お知らせ**  
青少年健全育成事業の見直しに伴い、長年実施してまいりました「友好都市大島サマースクール」並びに「少年少女書初め大会」につきましては、平成二十一年度より休止させていただきます。



# 私たちの総力を結集して、地域に

## 東秋留小学校



校長 宮崎 慶一  
副校長 玉森 正一

**教育目標：**  
「人間尊重の精神をもとに、豊かな人間性と未来を拓く学力をもった児童を育てる」を中心に置き、「豊かな学び」「すこやかな体」「ひろい心」を柱として設定しています。

**経営方針：**  
1. 児童にとって健康で楽しく生きがいのある学校（学級）づくりの推進  
2. よくわかる楽しい授業の推進  
3. 学校・地域社会・家庭が心と手をむすび、連携を密にした教育の推進

### 本校の特色：

- ①心身ともに健康な児童の育成
- ②豊かな自然と伝統・文化と地域人材を生かした「地域に根ざした教育」の推進
- ③特別支援教育を軸に「通常学級」と「ひまわり学級」との交流および障害児理解教育の推進

児童数533名 普通学級17クラス ひまわり学級3クラス  
一人一人に「いい体験」を数多く経験させ充実感や満足感を味わい、心の居場所をつくり、個性に応じた指導をきめ細かく進めてきたことにより、結果として不登校になる児童はいません。  
確かな学力や基本的な生活習慣を身に付けるために教師の指導力を高めます。また、学校と地域社会と家庭が密接に行動連携をとり、地域に根ざした教育を進めています。

## 南秋留小学校



校長 遠藤 桂一  
副校長 中島 靖二

- 確かな学力の定着を目指し、分かる喜び、学ぶ楽しさを感じる授業を工夫する。
- 体験的な学習を軸とし、地域の人材や自然環境を積極的に授業に生かす。
- 心の教育の充実を図り、より良く生きようとする力を育成する指導を展開する。
- 教育への情熱と子どもたちへの愛情をもち、適切な指導、子どもに寄り添った対応を進める。
- 学校が、組織として一丸となって子どもの教育を進める。

学校南側に広がる加住丘陵と秋川、体育館横にはビオトープ。そんな恵まれた自然環境の中で、心身ともに豊かに育つ子どもたち。米作り、畑作、むかし遊び、読み聞かせなど、保護者・地域の方々との連携・協力による生きた学習指導。授業規律と秩序ある生活行動を身につけ、子どもたちは、生き生きと学習に励んでいます。

本校は、豊かな自然環境に恵まれ、児童数は678名と、市内でも一番規模の大きい学校です。確かな学力の定着を目指し、校内研究の充実力を入れ、今年度は国語科の研究を進めています。また、30年来続いている米作りは、本校の伝統的な体験学習のひとつで、地域の方々から様々なことを学んでいます。市内でも最大級のどんと焼きに象徴されるように、PTAや地域行事と密着した教育も進めています。

## 増戸小学校



校長 遠藤 裕孝  
副校長 岸田 俊昭

- 教育目標**  
●考える子ども……自ら課題を見つけ、進んで学び、よく考える子  
●進んで行動する子ども……相手の気持ちを思いやり、気づいたことに向かって積極的に行動できる子（今年度の重点）  
●健康な子ども……心豊かに充実した生活を送るために、健康な体づくり、強い意志のもてる子
- 経営方針**  
●「開かれた学校」を学校経営の基本に置き、報告・連絡・相談を最適に行い、迅速・的確な学校運営を行う。  
●校内研究・少人数指導の充実を柱に、児童一人一人の学ぶ意欲と問題や課題を自力で解決していく過程を重視した授業を工夫し、考える力と基礎学力の定着を図る。

本校は、あいさつ運動や吹奏楽のジョイントコンサート、合同避難訓練など、増戸中学校と小中連携教育活動に力を入れています。

特色として、特別支援教育コーディネーターを中心に、学級担任と特別支援学級（通級）担任とが連携・協力し、保護者と密に連絡を取り合いながら、外部機関との連携に努め、個に応じた教育を充実させています。  
また、横沢入の里山自然体験学習や稲作体験学習などを、地域の方々と交流を通して展開し、地域に根ざした教育活動を推進しています。

## 多西小学校



校長 篠原 敬子  
副校長 渡部 雅彦

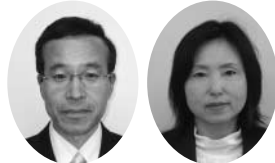
**教育目標**  
○心豊かでおもしろい子  
○ねばり強くやりぬく子  
○明るく元気な子

**平成21年度経営方針**  
当たり前のことを丁寧に教える多西小  
☆規律と品格のある子ども。  
☆信頼される学校。  
☆授業力を磨く教師集団。  
☆組織的な学校運営。

多西地区が誇る開校136年の多西小学校は、歴史と伝統文化の中で磨きめかれた家庭・地域の教育力を最大限に生かし、「多西小に通わせてよかった」と言っていた学校づくりを目指します。

本年度、東京都人権尊重教育推進校となった多西小学校は、全教職員による、全児童のための、人権尊重教育を、地域・保護者と共に推進します。『ハートフル♥多西』を合い言葉に、教育活動のあらゆる局面において、人権尊重教育の視点から指導法改善を行い、魅力ある授業づくりに、全教職員の総力を挙げて取り組みます。

## 草花小学校



校長 高橋 志夫  
副校長 荒畑 美貴子

- 教育目標**  
●海のように大きな心  
●太陽のように輝く自分  
●大地のようにたくましく
- 基本的な経営方針**  
よさを生かす  
活力を引き出す  
チームワークで育てる
- 今年度の教育の重点**  
かかわり力の育成  
御堂中との連携教育の推進  
地域との連携教育の推進

- 1 本市教育委員会の研究指定を受けて2年目。御堂中学校との共同研究を通して、小中の9年間の指導の積み上げの在り方等についての研究をさらに深め、指導を充実させていきます。
- 2 地域の皆様のご尽力による、登下校の安全の見守りや学校の教育活動に対するご協力への感謝の気持ちも込めて、9月16日(水)に「祖父母参観」を実施します。
- 3 特別支援学級の「ふたば学級」が在るおかげで、豊かな教育活動が展開できています。

本校は、「よさが生き 共に輝く 草花小学校」を看板に掲げています。今年度の学校運営のキーワードは、“チャレンジとチャレンジ”。学校としての可能性を広げるべく、「いじめ、不登校ゼロ」や「確かな学力向上」の定理に、大人が手本を示しながらの一步一步を大事にして取り組みをしています。

## 五日市小学校



校長 榎本 茂  
副校長 岩崎 治彦

- 「知」：基礎的・基本的な内容をしっかり教えます。  
「徳」：道徳で学んだことを、日常生活で実践できるよう指導します。  
「体」：体育の時間の充実と日常的な体力作り活動を盛んにします。地の利を生かした山登り遠足を行っています。  
「芸」：歌唱・朗読・絵画等の日常の活動を盛んにします。  
「勤」：勤労奉仕活動を盛んにし、働く喜びを感じることができるようにします。「おそうじ」もていねいに教えています。

本校では全教職員の英知を集結して『知・徳・体・芸・勤』のバランスのとれた児童の育成を全力で目指します。

開校明治6年。校長室には初代からの校長先生の写真がずらりと並び、五日市小学校の発展を静かに見守っています。  
また、廊下や、資料室には明治時代からの卒業写真がズラリと並んでいます。校庭には由緒ある木々が茂り、校庭に響き渡る鼓笛隊の演奏は、50年以上の輝かしい歴史を表しています。五日市小学校は全市に先駆けて平成18年度より「祖父母参観日」を行い大好評を得ました。輝く伝統に支えられ、地域に愛される落ち着いた学校です。

# 平成21年度教育の質の向上を目指して

## 国・東京都の指定事業等の取組

あきる野市教育委員会では、平成21年度教育目標及び基本方針並びに取り組むべき基本施策が決まり、平成21年度がスタートし、3月1日に発行した「一房のぶどう」第15号で取上げて紹介した10の重点施策を中心に各施策に取り組んでいます。

この号では、平成21年度に国や東京都の重要施策の指定を受けて実施している委託事業や市の研究奨励事業などをご紹介します。あきる野市教育委員会では、これまで、国や東京都の指定事業等に積極的に取り組み大きな成果を上げ、教育の質の向上を図ってきました。ここでご紹介する事業に取り組むことで、さらなる教育の質の向上を図ってまいります。

## 国指定事業

### 外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業

平成20年3月28日公示された「小学校学習指導要領」で、小学校5・6年生に年間35単位時間の「外国語活動」を平成23年度から新たに導入することになりました。本事業では、小学校における外国語活動の円滑な導入を図るため、「英語ノート」等の教材の効果的な活用方法や外国語活動における評価の在り方、学級担任の教員または外国語活動を担当する教員が中心となる指導体制や学級担任等を補助するための体制の在り方等について実践的な取組を推進します。

**指定校**・西秋留小学校・一の谷小学校

### 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

登下校などにおける子どもの安全を脅かす事件・事故は後をたちません。あきる野市においても、不審者についての情報が学校等から寄せられることから、関係者によるパトロール等を実施し、事件・事故の未然防止に努めています。

この事業では、あきる野市における学校や家庭、地域、関係機関等の様々な取組を通じて、関係者が相互理解と実践の連携を深め、「子どもを守る」体制を一層強化することを目指して、関係者のネットワークを作り、地域が一体となった学校安全体制整備の推進を目指した取組を推進します。

**指定校**：市内全小学校

### 発達障害等支援、特別支援教育総合推進事業

特別支援教育は、障害のある幼児・児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うものです。平成19年度からは改正学校教育法の施行により、全国の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校において、支援体制の整備が進められています。

本事業は、このような状況の下、発達障害を含む全ての障害のある幼児・児童・生徒の特別支援教育を総合的に推進するために、特に発達障害を含む障害のある子どもの乳幼児期から成人期に至るまで一貫した支援方策について重点的に研究と実践を推進します。

**指定校**・市内全小・中学校、幼稚園・保育所、特別支援学校、関係諸機関

### 理科支援員等配置事業

平成18年実施したOECDのPISA調査で、日本の子どもたちの科学的リテラシーについては、国際的に見て上位にあることが分かっています。一方で「科学的な疑問を認識すること」や「現象を科学的に説明すること」に課題があること、科学への興味・関心や楽しさを感じる生徒の割合が低いことなどが課題となっています。



本事業は、外部人材を理科支援員として活用することにより、授業における観察・実験活動の充実を図るとともに、教員の資質向上を図ることにより、小学校における理科授業の充実を図ることを目的として、理科好きな子どもたちを育てる取組を推進します。

**指定校：**東秋留小学校・多西小学校・西秋留小学校・屋城小学校・草花小学校・前田小学校・五日市小学校

### 問題を抱える子ども等の自立支援事業

小学生・中学生の不登校など学校不適應の課題は、全国的にも深刻な状況となっています。あきる野市では、教育委員会の重点施策として「いじめ・不登校0（ゼロ）への挑戦」を掲げ、関係諸機関と連携した取組を行っています。

本事業は、不登校、いじめなど生徒指導上の課題について、①未然防止、早期発見・早期対応につながる取組、②関係機関等と連携した取組、③せせらぎ教室（適応指導教室）を活用した取組、といった観点から特色のある実践研究を推進します。

**指定校：**市内全小・中学校

### 学校支援地域本部事業

この事業は、家庭・学校・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、学校支援ボランティアの活動を充実させるための事業です。ひいては、先生の負担を軽減し、先生が子どもと向き合う時間の確保につなげていくものです。

#### 事業のねらい

- 子どもたちの教育をよりよいものに
- 地域の教育力の向上
- 生涯学習社会の実現

本市では、一の谷小学校において、地域教育協議会と学校支援ボランティア、地域コーディネーターで「学校支援地域本部」を構成し、下校時の安全ボランティア活動を重点的に取り上げ、その活動をコーディネートしたものです。さらに、その他の学校支援諸活動（樹木の管理、花壇の整備等の環境整備ボランティア等）にもコーディネート の範囲を広げ、地域力の発揮により学校支援を充実していくものです。

## 東京都指定事業

### 日本の伝統・文化理解教育推進地域

日本の伝統・文化理解教育は、長い歴史の中で人々に受け継がれてきた華道や茶道などに代表される文化だけでなく、未来に受け継いでいきたい現代の文化も含めた「日本の伝統・文化」を、子どもたち自身が今日的な視点から伝統や文化をとらえ直し、日本のすばらしさを誇りに思うと同時に、世界の中で日本人としてよりよく生きていくために、何をどのように生かしていくかについて理解し実践する、夢のある教育のことです。

本事業は、あきる野の地域の伝統・文化への理解を深め、愛着と誇りを持って生き生きと生きる子どもを育成するために、授業の在り方を研究、実践し、教育課程への位置付けを明確にした取組を推進します。

**指定校：**市内全小・中学校

### スクールカウンセラー活用事業におけるスクールカウンセラーの配置

児童及び生徒の臨床心理に関して、高度に専門的な経験を有する臨床心理士をスクールカウンセラーとして配置し、いじめや不登校等の未然防止、改善及び解決並びに学校内の教育相談体制等の充実を図ります。

**指定校：**屋城小学校・草花小学校・市内全中学校

### スポーツ教育推進校

近年、子どもの体力低下が課題になっていますが、あきる野市においても例外ではありません。中学校の運動部を中心として、関東大会や全国大会への出場を果たすなどの活躍の一方で、ほとんど運動しないと答

# 誇れるあきる野っ子を育てます

### 西秋留小学校



校長 浅原 伸行  
副校長 坂本 満弘

人間尊重の精神を基調とし、個性豊かで、たくましく生きる、心身ともに調和のとれた児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

○思いやりのある心…学校全体の中で、心の教育推進  
○考える力…基礎的・基本的な知識の獲得と学習意欲の向上  
○じょうぶな体…基本的な生活習慣の確立と体力の向上

秋川の清流にのぞみ、風光明媚な地にある。保護者の教育に対する期待と関心が高く、地域も、自分たちの学校という意識が強く、協力を惜しまない。地域活動も活発で、学校・PTA・地域の連携が密に保たれ、豊かな体験活動の充実が図られています。

こんな学校を目指します  
豊かな学びで、心身ともに元気な学校  
1「思いやりのある心」……①子ども達の安全の見守りの継続②「優しい言葉 元気あ いさつ」運動の人権教育の推進③道徳教育の充実④2、5年生があきる野学園との交流  
2「考える力」……①5、6年生の外国語活動を年間35時間実施②算数少人数指導における習熟度別学習の推進③米作り（5年）菊作り（6年）の実施による伝統・文化理解教育の推進④全学年へ春・秋に「絵本の会」による本の読み聞かせ⑤夏休み前期・後期に分けたサマースクールの実施  
3「じょうぶな体」……①「早寝 早起き 朝ごはん」の意識付け強化②5年生による体力テストの実施③持久走月間、なわ跳び月間の設定④食育年間指導計画に基づいた「食育教育」の推進

### 一の谷小学校



校長 岡部 廣  
副校長 木下 美彦

教育目標  
●よく聞いてよく考える  
●やさしい心をもつ  
●最後までがんばりぬく

経営方針  
①教育活動全体を通して人権教育を推進し、人権に対する感覚や実践力を育てる。  
②基礎的・基本的な内容の確かな定着を図り、学ぶ意欲と自信を育てる。  
③特別な支援を必要としている児童の教育的ニーズに応じた指導を推進する。  
④自ら学び考え解決する力や表現力を育み、主体的に学ぶ力を育てる。  
⑤地域の様々な人や自然や文化とのかかわりを通した学びを重視し、豊かに生きる力を育てる。  
⑥心身の健康の保持増進や安全に対する意識を高めるために、「食」に関する指導や健康・安全指導を計画的に推進する。  
⑦地域社会の一員としての自覚や広く国際社会に対応できる力を育てる。  
⑧家庭を開き、家庭・地域との連携を充実させ、「共有」の充実を図る。

- ①国語と算数の少人数（20名程度）で指導。学力向上に力を入れています。
- ②伝統芸能の学習など一の谷小ならではの教育活動で、子どもたちが豊かに育っています。
- ③安全・安心な学校作りを進めています。（メール送信、FAX送信、学校安全ボランティアの活用）
- ④文部科学省の指定事業として「外国語活動」「学校ボランティアの充実」に取り組んでいます。

一の谷小学校は、秋川を挟んでサマーランドと対面している、全館冷暖房完備の学校です。本年度で開校34年目を迎えます。開校当時、地域の方々に寄贈していただいた300本の木は、今でも地域の方々の手によって剪定が行われており、まさに、地域の学校に対する熱い思いが支えられている地域あつての学校といえます。今年度から特別支援学級「こすす学級」が開設し、現在の学級数は8学級で、児童数は193名です。国語と算数の2教科で少人数指導を実施しています。15分モジュール学習の取り組みとともに、基礎学力をつける指導の充実を図っています。あきる野学園との交流は10年目を迎えます。学期1回の休日の学校公開。地域の経験豊かな方々から学ぶ指導体制の充実も図っています。

### 戸倉小学校



校長 工藤 淳一  
副校長 須崎 和英

経営方針や教育方針等  
＜教育目標＞  
人権尊重の精神を基盤とし、特色ある教育を展開するなかで、確かな学力を身に付けさせるとともに、豊かな人間性、創造性を育て、心身とも健康で、自ら学び実践する児童の育成に当たる。  
◎進んで学ぶ子  
◎思いやりのある子  
◎体を大切に子  
＜めざす学校像＞  
◎学ぶ意欲が育ち、確かな学力が身に付く学校  
◎かかわりを大切にし、豊かでたくましい心が育つ学校  
◎子どもの安心・安全を守る地域共同体づくりを進める学校

6名の新入児童を迎え、全校児童29名で新学期がスタートしました。家族的な雰囲気の中にも節度をもって、明るい挨拶や子どもたちの歓声にあふれた規律ある学校づくりを目指します。

今年で開校136年を迎える戸倉小学校は、かつて戸倉城があった城山のふもとにあります。たくさん野鳥が訪れ、四季折々の花や大もみじの紅葉、秋川の清流に囲まれるなど豊かな自然に恵まれています。また、地域全体で学校を支える土地柄の中で子どもたちはのびのびと育っています。43年目を迎える愛鳥教育も本校の特色の一つです。

### 屋城小学校



校長 加藤 純  
副校長 福原 憲生

- (1) 学習意欲を高めて、確かな学力を定着させる。
- (2) 児童の心に寄り添う生活指導で、安全で安心な環境を充実させる。
- (3) 特別支援教育の推進で、だれもが居心地のよい学校をつくる。
- (4) 自然や地域文化を生かし、特色ある教育活動を充実させる。
- (5) 教職員相互・保護者・地域・諸団体・ボランティアと連携し、協働する学校にする。

本校では、教育の目標の「や（やさしい子）・し（しっかりした子）・ロ（ロマンのある子）」を合い言葉に、全教職員一丸となって、人権尊重の精神のもと、心身ともに健康で、豊かな児童を育てようとしています。

新しい学習指導要領にいち早く対応して、一人一人の子供に合った学習指導を行っています。そのために、特別支援教育をより充実させていきます。また、全ての子供にとって「安全で安心して学べる地域の学校」を目指す屋城小は、地域の方々と協働で子供たちを健全に育てていきたいと考えています。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 前田小学校



校長 竹川 博  
副校長 龜山 桂子

経営方針や教育方針  
「命を大切にし、共に輝き生きていこう」  
●たくましくーじょうぶな体とねばり強い心を育てる  
●なかよくー自ら学び、考える力を育てる  
●かしくー一人のよさ、自分のよさを生かす  
あう

『じょうぶな体・強い心』『一人一人に優しい学習環境作り』『地球に優しい環境作り』を三本柱とし、スポーツ教育推進校・

体力テスト協力校として健康教育の推進、特別支援教育のさらなる充実、3R（リユース、リデュース、リサイクル）の実行を目指します。

#### 前田プラン 子どもが変わり、教師も変わる学校

『元気いっぱい』『優しいいっぱい』『あいさついっぱい』  
前田小には、元気がいっぱいあります。楽しい授業が行われ、子どもたちが元気いっぱい学んでいます。休み時間は、広い校庭で元気いっぱい遊びます。子どもたちは、優しい心をもっています。友達や家族、先生、地球を大切にします。子どもたちがなかよく、元気よくあいさつします。  
人と人のかかわりを大切にし「共に学び共に育つ学校を！」を目指します。

### 小宮小学校



校長 赤松 優  
副校長 坂口 悟朗

＜教育目標＞  
◇気づき考え実行する子  
物事に対する関心、考えを深める態度、進んで取り組む態度の育み  
◇仲良く助け合う子  
思いやる心、きまりと約束を守る態度、郷土を愛し誇りに思う心の育み  
◇明るく元気な子  
健康的な習慣、丈夫な体、活動的な態度、互いに認め合う心の育み  
＜目指す子ども像＞  
★こ 行動する子  
★み 見つめる子  
★や やさしい子

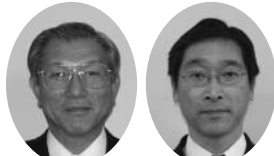
本校は、全校児童21名と東京都でいちばん児童数の少ない学校（島嶼を除く）ですが、一人一人のパワーで人数の少なさを感じさせない力強い教育活動を進めています。

小宮小学校では、少人数である特徴を生かした教育活動に取り組んでいきます。個に応じた授業を進めることで、基礎・基本の定着および思考力・判断力・表現力等を育てていきます。全校宿泊学習やさまざまな縦割り活動等を通して、豊かな心や健やかな体を育成していきます。伝統の小宮太鼓にも引き続き取り組んでいきます。



# 地域で輝く中学生を育てます

## 秋多中学校



校長  
丹治 充



副校長  
渡辺 暁

いのちの尊さを深く自覚し、たくましく生き、進んで社会の発展に尽くす人を目指して。  
○ゆたかな心を持つ  
○たくましい体をつくる  
○しなやかな個性を磨く

平成21年度研究  
(1)「スポーツ教育推進校」 東京都研究指定校  
(2)「日本の伝統・文化理解教育地域研究活動」 各教科における日本の伝統文化―  
(3)「特別支援教育個別指導」 個別支援指導の充実―

秋多中学校の生活は、朝の気持ちのよい挨拶と始業前の10分間朝読書から始まり、そして、教科の学習が行われ、放課後の活発な部活動で一日が終わります。  
目指す学校像は、「学力の確実な定着と健康の増進及び体力の向上を図り、豊かな体験活動を通して個性と創造力を伸ばす学校であり、生徒と教師が共に燃え、感動できる学校」を志向しています。

特色ある教育活動は、「いのちを尊ぶ教育」を柱として、道徳の授業や総合的な学習の時間を通して、豊かな心をはぐくみます。また、学力の確実な定着と学力向上対策では、国語・数学・英語学習を少人数指導で行います。さらに、体力・運動能力の向上を図るために、体育のチームティーチング学習指導方法を取り入れ、また、生徒自身の興味関心に基づいた部活動を選択して、連日夕刻まで熱心に活動しています。その他、自主的な学習の取り組みでは、自分の課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、学習の補充と深化を図るために、定期考査前の放課後、長期休業中の時間を活用して学習教室を開催しています。

また、同窓会が組織され、体育大会では、創立三十周年を記念して創作された秋多中音頭の演技に参加するなど、日々の教育活動を支援していただいています。

## 西中学校



校長  
山形 正則



副校長  
清水 和彦

●「本気」「元氣」「根気」を合言葉に、思いやりと規律と活力のある学校を目指しています。  
●「思いやる心を育む教育」を中心に据え、コスモス街道の整備やあきる野学園との交流を通して、教育実践を行います。  
●「基礎 基本の充実」を重点課題とし、少人数等による学力の基礎・基本の定着、部活動や行事による生活の基礎・基本、障がいのある方々との交流による心の基礎・基本の充実を図っていきます。

あきる野市のほぼ中央に位置し、周囲を、都立あきる野学園、多摩養育センター、旧都立高校、富士通そして野菜やクリの畑に囲まれた学校です。また、今年度より、特別支援教室（情緒障害）の開級をいたしました。学区内小学校と都立あきる野学園との連携を更に強化し、あきる野市の特別支援教育推進学校としてスタートを切りました。

すばらしい教育環境の中で、生徒は知・徳・体をバランスよく学んでいる学校です。学習では各教科はもちろん朝読書や選択授業を真剣に取り組んでいます。心の育成面では、行事や総合的な学習の時間を中心に、コスモス街道の整備や障がいのある人との交流・体験を通して「思いやりの心」をしっかりと培っています。健康・体力の面では、多くの部活動が東京都のトップレベルにあり、体育大会や行事に燃え、生徒は主体的に活動しています。

## 増戸中学校



校長  
田島 弘之



副校長  
曾我 有二

教育目標 ●夢を持ち続ける人  
●進んで努力する人  
●思いやりのある人  
より質の高い教育を提供するために  
●基礎・基本の確実な定着  
●規律・規範意識の醸成

本校の教育目標に掲げた「夢を持ち続ける人」「進んで努力する人」「思いやりのある人」は、混沌とした社会を乗り切っていくための指針となっています。  
将来が不透明な現代にあって、よりよい人生を送ることができるように、「どこへ行ってもやっつけられる人間」の育成を目指していきます。

本校は、豊かな自然に囲まれています。生徒は明るく素直であり、落ち着いた学校生活の中で、学習や部活動に取り組んでいます。今年度は、数学・英語において、少人数指導を行っています。また、24年度学習指導要領の完全実施を視野に入れ、基礎・基本の定着を目指して、学校として選択教科を設定しています。さらに、「総合的な学習の時間」の名称を「未来科」とし、1年では「自己探求」、2年では「自己開拓」、3年では「自己実現」という目標を掲げ、「未来像を描き、協同して実現に向かう人間の育成」を目指しています。

学区においては、1小学校、1中学校であるため、義務教育を9年間と捉えた小中一貫教育の視念に立ち、小学校との連携を工夫するとともに、保護者・地域からご協力、ご支援をいただきながら、「生徒、保護者・地域、教職員にとって、誇れる学校」づくりを推進していきます。

## 東中学校



校長  
清水 信光



副校長  
高島 昇

◎教育目標（目指す生徒像）  
社会の変化に主体的に対応できる心身ともに健全な社会人の育成をめざして  
○よく考え、最後までやり抜く人  
○豊かな心を持ち、思いやりがある人  
○常に自分を高めようと努力し、創造力のある人

◎学校経営の基本姿勢（目指す学校像）  
●生徒の安全を確保する（安全して学べる東中）  
●生徒の人権を尊重する（生徒が大切にされる東中）  
●生徒の学習を保障する（本当の学力がつく東中）

平成21年度スローガン  
「知性・感性・社会性」を高め、  
思いやりの心あふれる開かれた東中

東中は、運動部、文化部ともに活動が盛んで明るく元気一杯な生徒で溢れています。また、特別支援学級の生徒は全員青梅マラソンに参加し完走しています。一人一人の生徒を大切にし、思いやりの心あふれる学校をめざします。また、PTA、PTAOB会（東雲会）、地域による教育活動や安全確保への支援も活発に行われています。

## 御堂中学校



校長  
山崎 雅司



副校長  
古田 博己

人権尊重の精神を基調とし、自主・自立、真理の探究の精神に富み、心豊かでたくましい生徒を育成するための教育目標を掲げています。  
●自ら学び自ら考え実行する生徒（自主）  
●理想に向かって向上努力する生徒（努力）  
●美しい心たくましい体の生徒（健康）

(1) 授業の一層の推進と知識の活用力を身につけさせ、学習意欲の向上を目指します。また、家庭学習を習慣化させるための実践を進めていきます。  
(2) 教育相談部を中心に、生徒の心のケアや不登校生徒への指導をスクールカウンセラーとともに組織的な相談活動を行い、いじめ・不登校ゼロを目指します。  
(3) 地域の小学校と連携し、保護者、地域の方々の協力を得ながら、9年間を見通した教育活動をすすめ、生徒の持つ可能性を最大限に発揮させます。

本校は、草花丘陵を背に、南に平井川、西に遠く奥多摩の山々を望む自然環境に恵まれた地域です。保護者・地域の方々は本校の教育に大きな期待を寄せ大変協力的です。

生徒は、明るく素直で授業や部活動に熱心に取り組んでいます。生徒会ではより良い人間関係づくりを目指して、「あいさつは御堂の顔」をスローガンに取り組んでいます。また、環境への意識を高めるために「もったいない運動」にも取り組み、実績をあげています。

## 五日市中学校



校長  
加藤 高明



副校長  
守屋 和広

教育目標 ●よく考えて行動する生徒  
●進んで協力する生徒  
●思いやりのある生徒  
●心身ともに健康な生徒  
経営目標  
めざす生徒像 ●自ら光り輝く基礎学力を身に付けた生徒  
めざす教職員像 ●生徒のよさを引き出し、素質・才能を開花させることに生きがいを感じ、五中生への愛情は誰にも負けない誇りと確かな授業力を身に付けた光り輝く職員  
めざす学校像 ●生徒が明日の登校を楽しみにし、教職員が指導に喜びを抱き、地域から「あの学校は地域の誇りだ」といわれ得る地域に光り輝く学校

本校は、長い歴史と伝統を持ち、地域住民と保護者の期待に応えて育てられてきました。現在もこの伝統を生かし、学校・地域・保護者が三位一体となり教育活動を進めているのが特色です。

本校は伝統と歴史と豊かな自然環境に恵まれ、生徒は充実した中学校生活を送っています。勉強（少人数授業等）や部活動、特別支援学級の活動と生徒同士の交流、ガードレール清掃等の様々なボランティア活動、活発な学校行事（運動会や音楽会）、地域行事への参加（中学生御輿）等が学校と地域・保護者の協力のもとに行われ、より高い教育効果をあげています。

える生徒の割合も東京都の平均値を超えているといった現状もあります。

本事業は、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、児童・生徒の健康増進や体力向上を図るとともに、国民体育大会やオリンピックをはじめとする国内及び国際的なスポーツ大会などの意義と国際親善や世界平和に果たす役割を正しく理解し、積極的に運動やスポーツに親しみ、心身の調和的な発達を遂げ、進んで平和な社会の実現に貢献することができるようスポーツ教育を推進します。

指定校・屋城小学校・前田小学校・秋多中学校

## 障害のある子供に対する関係機関の早期支援の連携に関するモデル事業

「東京都特別支援教育推進計画第二次実施計画」では、障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けた取組として、障害のある乳幼児の早期支援のための関係機関の連携が強く求められています。

本事業は、東京都教育委員会から指定を受けて、就学前教育の関係諸機関の連携強化を進め、成果について東京都内区市町村教育委員会及び関係部署に周知して、特別支援教育の推進に資する取組を推進する。

指定校・市内全小学校、幼稚園・保育所、特別支援学校、関係諸機関

## 人権尊重教育推進校

あきる野市では、教育目標の基本方針の第1に「人権尊重と社会貢献の精神をはぐくむ教育の推進」を掲げ、家庭や学校・地域と連携した人権教育を推進しています。

本事業は、東京都教育委員会の指定を受け、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、人権教育を一層充実させるための取組を推進します。

指定校・多西小学校

## 放課後子ども教室推進事業

この事業は、文部科学省と厚生労働省とが連携し、総合的な放課後対策を推進するため、放課後子どもプラン推進事業として、全国の小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するもので、平成19年度からモデル事業として、東秋留小学校と草花小学校で実施しました。平成21年度は、この2校のほか、戸倉小学校や小宮小学校が4月から、現在選定中の1校が秋から加わり5つの小学校で実施します。

## ——— その他指定事業 ———

## 市研究推進校（小中連携校）

この事業は教科・領域等に関して行われる学校の研究に対し、教育課題の解決を目指す研究活動を助成し、その推進を図ります。さらに、その成果を公開発表や紙上発表を行うなど、教育指導上の参考に供し、本市の教育の充実・振興を図るものです。

小中連携校の研究では、特に平成17年度から、学区域の小学校及び中学校を推進校に指定して、あきる野市の重点施策でもある小学校と中学校が連携した教育課題の解決に向けた研究を推進します。

指定校・五日市小学校・五日市中学校・草花小学校・御堂中学校

## 総合型地域スポーツクラブ事業

この事業は、子どもから高齢者まで誰もが、年齢・興味・関心、技術・技能レベルに応じて、いつでも参加できる生涯スポーツの場として、地域住民による自主的・主体的なスポーツクラブの組織化及び定着化を推進する事業です。平成21年度は(財)日本体育協会による総合型地域スポーツクラブ創設支援事業の指定を受け、あきる野総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を立ち上げ、多くの市民がスポーツや運動に親しめる環境づくりの活動を開始します。